

いぶき（GOSAT）シリーズによる排出量検証に向けた技術高度化事業等

【令和2年度予算（案）（一般分）185百万円（85百万円）（特会分）1,995百万円（1,890百万円）】

【令和元年度補正予算（案）（一般分）5,000百万円】



温室効果ガス観測技術衛星GOSATシリーズによる世界の温室効果ガス排出量の特定と透明性向上を目指す

1. 事業目的

- ① GOSATシリーズにより世界の温室効果ガス(GHG)濃度の分布状況とその時間的変動を継続的に監視する体制を維持・強化するため、「温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）」を開発する。
- ② グローバル・ストックテイクへの貢献を目指し、客観性の高い独立した排出量検証手法を実証し確立する
- ③ 各国が自らGOSATシリーズの観測データを用いてGHG排出量の比較評価を行えるよう、世界をリードして国際標準化を図るとともに各国への技術支援を行う

2. 事業内容

1. GOSATシリーズによる継続観測

- ・ 世界初のGHG観測専用衛星GOSAT(2009年打上げ)のミッションを発展的に継承したGOSAT-2(2018年打上げ)の継続運用を行う。また2028年の第2回グローバル・ストックテイクを見据え、宇宙基本計画に基づき文科省と共同で世界でも先駆的なGOSAT-GW衛星観測システムの開発を行い、温室効果ガス排出源の特定と排出量の推定精度向上を目指す。

2. 排出量検証に向けた技術高度化

- ・ 衛星データ等を用いた濃度算出アルゴリズムの高度化を図るとともに、GHG排出量推計精度の評価を目的とした実証実験を実施する

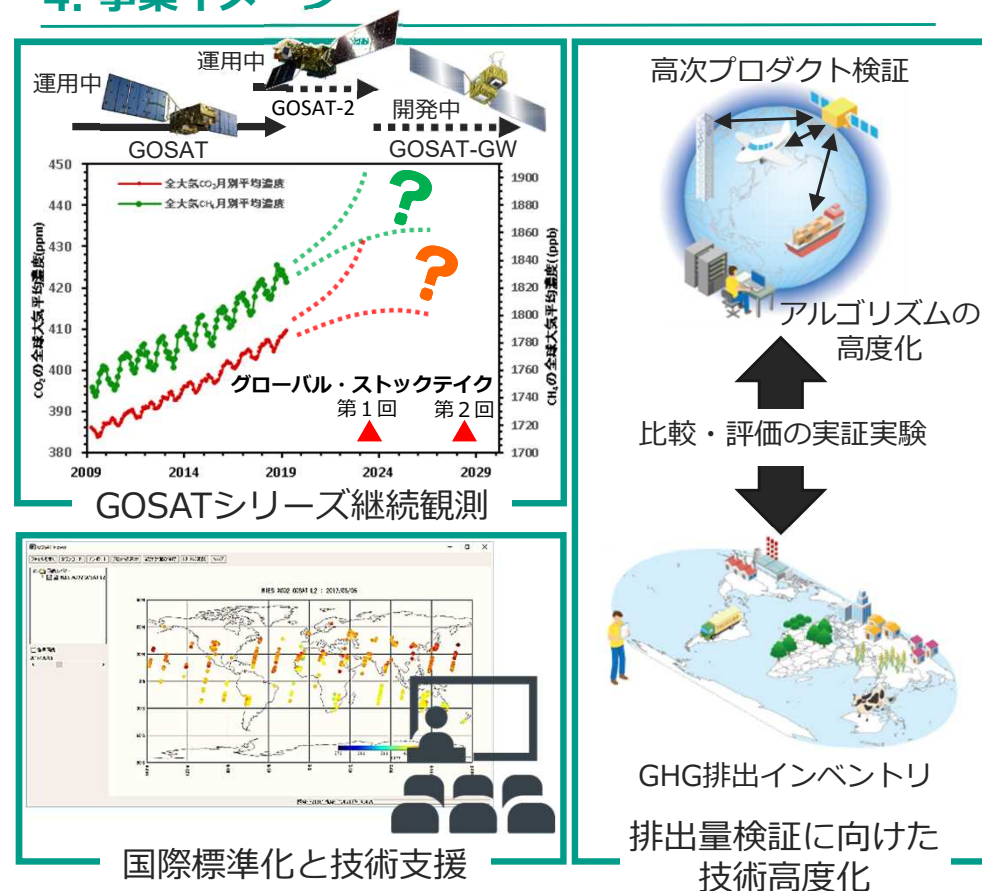
3. 国際標準化と技術支援による国際貢献

- ・ 各国の宇宙機関との相互評価、地上観測データとの比較検証に基づき国際標準化を図るとともに、途上国への技術支援を実施する

3. 事業スキーム

■ 事業形態	委託事業、請負事業
■ 委託・請負先	民間事業者・団体等
■ 実施期間	平成26年度～

4. 事業イメージ



お問合せ先： 環境省地球環境局総務課脱炭素化イノベーション研究調査室 電話：03-5521-8247